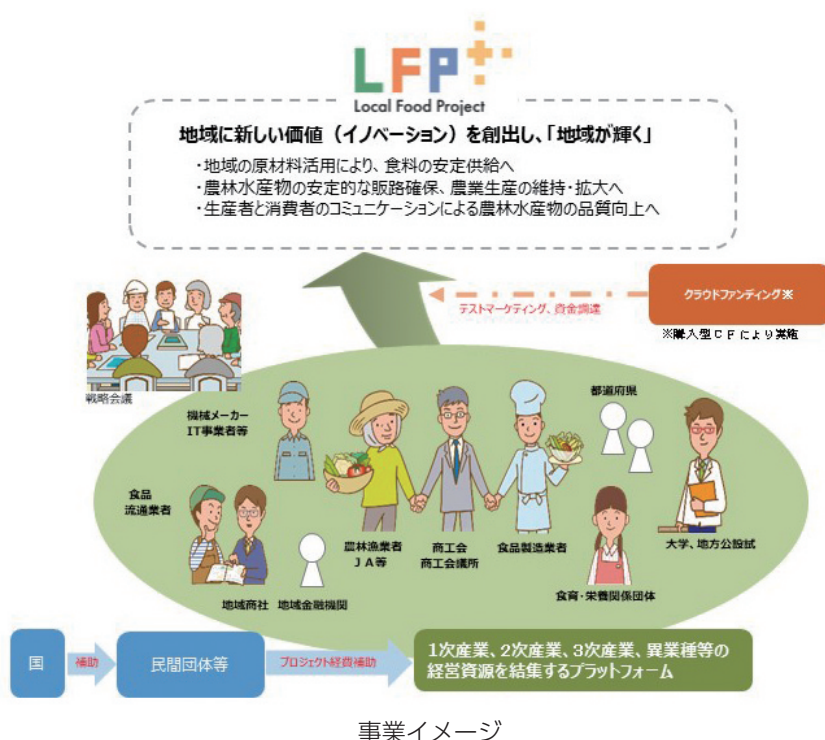


「おきなわローカルフードプロジェクト(LFP)」 が発足しました!



事業イメージ

今年度、沖縄で初めてのLFP
P)を推進しています。

農林水産省では、地域の農林水産物を活用しながら、生産者、加工業者、流通・販売業者などが集まって連携し、規格外農産物の有効活用や過疎化に対応する定住促進などの、地域が抱えている課題の解決に取り組むと同時に利益も上げることを目指した新たなビジネスモデルを生み出す「ローカルフードプロジェクト(略称:LFP)」を推進しています。

令和5年9月21日(木)には、当プロジェクトの取組として第1回ワーキングセミナー及び戦略会議が開催され、40人が参加しました。第1部では先駆的な取組を行っている3名の事業者から、台風で被災したマンゴー農家とコラボレーションし商品開発を実現したことなどの事例紹介があり、第2部では今までにない新しい発想を生み出せるよう異業種が一緒となるグループを編成し、参加者それぞれの分野における課題解決に向けた話し合いを行いました。参加者からは「もっと規格外の農作物を利用すべき」「農業体験型の観光により農家の所得向上が図られる」「山羊を有効活用することで循環型のビジネスモデルが構築できる」といった新たなビジネスにつながる意見が挙がりました。当プロジェクトでは、今年度内に第2・3回のセミナーを開催するほか、具体的な商品開発などの検討を進める予定であり、沖縄の農業に新しい価値を生み出すビジネスモデルの創出が期待されます。

の取組として「おきなわローカルフードプロジェクト」が発足しました。当プロジェクトでは、農業者をはじめ、食品の製造・小売に携わる方や沖縄のリーディング産業である観光業に関わる方などが結集し、沖縄の新しい食ブランドの確立に向けて商品開発の取組を開始しました。

野における課題解決に向けた話し合いを行いました。参加者からは「もっと規格外の農作物を利用すべき」「農業体験型の観光により農家の所得向上が図られる」「山羊を有効活用することで循環型のビジネスモデルが構築できる」といった新たなビジネスにつながる意見が挙がりました。当プロジェクトでは、今年度内に第2・3回のセミナーを開催するほか、具体的な商品開発などの検討を進める予定であり、沖縄の農業に新しい価値を生み出すビジネスモデルの創出が期待されます。



農業とのコラボレーション事例紹介

お問合せ先
農林水産部 食料産業課
☎098・866・1673